

ロシア極東へ初出張！ レポート 設計部 渡壁 弘志



この度、ナホトカに所在するKVEN社へカニカマ製造ラインの納品に同行致しました。昨年ヤナギヤに中途入社し半年、少ない経験値の中で今回の業務は3週間の滞りで、設備知識の習得は勿論のこと、ロシア極東の地を訪れ、現地の空気を感じ、人々と触れあったことは、渡壁史上において後にも先にも大変貴重な経験になりました。

まず、設備知識の習得においては、サイレントカッター～斜めカニ及びカニ棒のライン～ボイル冷却機、さらにはフローズンカッター・蒸し器・スライサーと多種の物があり、これらの操作説明や清掃手順をユーザーに伝えるということは、自分にとって最高の学習になりました。やはり人に教えるためには教える側の理解が大切です。また、幾つかトラブルも発生しましたが、再発防止への対策を講じることでステップアップすることが大事であると思います。

また、コミュニケーションについては業務上に限らず、日常的に現地人との必要性があります。強く感じたのは伝えたいことを明確にすること、質問をして相手の話を理解することが大切で、当然、語学へのニーズはありますが、筆談やボディランゲージで伝えたり、理解したりということが可能でしたし、イメージを共有することができます。海外であれ日本であれ、これを標語として活動したいと思います。

この度の出張において出発前は、私のロシア極東のイメージは、軍事的で殺風景なものでした。ところが、一度生活してみると、街の機能は特に目立った不便もなく、優しい人たちが住み、とても穏やかな所でした。3週間滞在し、文化や習慣の違いはありますが、“人情や義理の部分は万国共通の性格を持っているなあ”と感じ貴重な時間となりました。



左から小野参与、渡壁、現地スタッフ、清水係長

国際部に中国人スタッフ誕生！張 永恒です。宜しくお願い致します。



昨年10月入社した“ヤナギヤ初”となる中国人スタッフ
張 永恒 (Zhang yongheng) さんをご紹介します。

張さんのコメント

昨年10月に株式会社ヤナギヤに入社しました張 永恒です。99年に留学生として来日し、現在は日本で楽しく生活しています。

私が日本に就職したきっかけは2001年に初めて受けた「日本語能力試験1級」に合格したことにあります。

そして、今まで身に付けてきた語学能力と日本での職業能力を生かし、これからは日中の架け橋になりたいと思って日本で就職しました。

昨年は早速、中国青島で開催された中国国際漁業博覧会に行かせて頂き勉強してきましたが、中国ではシーフードが健康に良いという事が広まっており、ニーズの高まりを強く感じました。

また、水産練り製品では「カニカマ」以外にも「竹輪」の認識が深まって来ている様に感じています。

今後はもっと沢山の中国のお客様にヤナギヤを知って頂く為に、現在、ヤナギヤのカタログを中国語に訳しております。中国での水産加工機械へのニーズに応じていく為に、私自身、コミュニケーション能力を上げ、販売戦略に力を入れて行きたいと思っています。



出身地の済南市泉城広場には「泉の町」を象徴する巨大な市のシンボリックモニュメントがあり、目を引きます。

【プロフィール】

張 永恒 (ちょうえいこう)
山東省済南市 (さいなんし) 出身。
1981年8月14日生れ (30歳) A型。家族は妻と6月出産予定のお腹の子供と2人半で宇部市に在住。
趣味はバスケットとゴルフ (ベストスコアは92)。
1999年、18歳の時に山口県長門市「長門高校」に留学。その後宇部市の「フロンティア大学短期大学」、山陽小野田市の「山口東京理科大学」へ進学。宇部72カントリー倶楽部で5年間勤務後、2011.10月ヤナギヤ入社。現在国際部に活躍中。



済南市 (さいなんし) は山東省の西部に位置し、省都として省内の通商、政治、文化の中心としての地位を占めています。市中を黄河が流れ、南には泰山が控え、北京料理のもととなった、やわらかくて塩辛い「魯菜」(山東料理) でも知られています。また「七十二名泉」と呼ばれる水量の多く美しい泉水があるため、都市の別名を「泉城」と言い。豊かな自然と歴史資源を持つため、国家歴史文化名城に指定されています。

2011 中国国際漁業博覧会を見学してきました。

